563001

視聴覚ライブラリー事業費

平成28年度 单位施策評価表

所属 38100000

生涯学習部 生涯学習課

5,187

100

佐佐	E202	开证学习	 			生涯字督部(生)	生于自林									
施策			機会の充実	コフト地形書の	△ +₩ Т	W 77	**************************************									
区分	妥当性		妥当	コスト削減の			者負担 適	止								
++4-	上位貢献	【度 1	与効	類似事業の有	無無	放果回]上の余地 有									
対象	市民	99 ./ —		のクジャーサー	誰にしてる ご	イロー エルエキ グラ ラ	· • * • • • • • • • • • • • • • • • • •									
施策が目指す姿	進する	組織の構	築等を図ります	0		舌用、地域 <i>ぐるみ</i>	⊁の教育を推									
成果指標	市民涯学級人権	大学事業 学習人材 ・講座等 教育指導	延出席者数…平 バンク登録者の の受講者数…平 者養成講座受講	成29年度で1,20 活動件数…平成 成29年度で28,0 者数…平成29年	0人(現状値904 ,29年度で100件 00人(現状値25 度で100人(現れ											
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度									
	成果指標1	予定	658.00	900.00	1,000.00	1,100.00	1,200.00									
	[人]	実績	658.00	905.00	688.00	1,402.00										
目	成果指標 2	予定	55.00	70.00	80.00	90.00	100.00									
標	[件]	件] 実績 55.00 91.00 80.00 105.00 単位以 8,158.40 4,949.24 5,877.38 4,483.96 発指標 3 予定 4,590.00 26,500.00 27,000.00 27,500.00 28,000.00														
		単位コスト 8,158.40 4,949.24 5,877.38 4,483.96 指標 3 予定 4,590.00 26,500.00 27,000.00 27,500.00 28,000.00 人] 実績 22,804.00 27,365.00 37,422.00 33,394.00														
達	成果指標3	予定	4,590.00	26,500.00	27,000.00	27,500.00	28,000.00									
成	[人]	実績	22,804.00	27,365.00	37,422.00	33,394.00										
		単位コスト	19.68	16.46	12.56	14.10										
状	成果指標4	単位以下 8,158.40 4,949.24 5,877.38 4,483.96 標3 予定 4,590.00 26,500.00 27,000.00 27,500.00 28,000.00 実績 22,804.00 27,365.00 37,422.00 33,394.00 単位以下 19.68 16.46 12.56 14.10 標4 予定 30.00 45.00 60.00 75.00 100.00 実績 30.00 115.00 71.00 309.00														
況	[人]	実績	30.00	115.00	71.00	309.00										
		単位コスト	14,957.07	3,916.36	6,622.39	1,523.68										
	トータルコスト	予定	458,526	453,949	447,358	427,310			$\overline{}$							
	(千円)	実績	448,712	450,381	470,190	470,816										
内	貢献度	上位施 等受請	5 5 5 5 5 5 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 9 8 9 8 9 8 9 8	各種学級・講座 要であるため、	至受講者満足度 本単位施策の		こめには、学級 る貢献度は高い	・講。	座							
部	達成状況	4 つの 係機関	の成果指標すべて 計主催の講座も受	で目標値を上回 講できるように	回った。特に市 こしたことが延	民大学は広報のf 出席者数増加にご	土方を変えたこ つながった。	とや	関							
評	課題	各種請 成果の	i座の受講者の年)活用先について	齢層が高齢者に の情報提供や活	に傾きがちであ 5用の機会をさ	る。講座等の受記 らに充実させる。	講者について、 必要がある。	学習	<u>の</u>							
価	取組方針	若者か 成果を	\ら高齢者まで各 全かし活躍する	マの世代が興味 場を、他施策や	kを持てるよう P関係機関との	講座内容の充実で 連携によりさら1	を図る。また、 こ検討していく	学習 。	<u></u>							
外部評価	いた市民: 法を工と 今後える。 施策の成:	大学事業 した 種講座の とまが表れ	出席者数が目標 という点は敬意 受講生を人材と 、これを生涯学	を達成するため を表したい。 して活用する仕 習人材バンクへ を鑑みて、次期	に、昨年の外部 組みや学習成界 つなげるような	こ、これまで未達 評評価の意見を基 発表の場を提供 工夫を期待した 5目標値の設定に	に周知方 すること :い。									
	 事業コード	1		名	 称		ト-タルコスト(千F	Д) Т								
単位施策達成	538204	青小年	 丰育成センター道		10.		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	3) 414	100							
施施	538205		<u>+育成センター選</u> 丰育成センター選				_	810	100							
策	538601		〒健全育成団体3		 木)			725	100							
選 成	560101		于医王自从图件》 辰興費補助金	いなず木具(加)	<u> </u>			500	100							
の	560401		成英貨品的並 学習情報提供事業					250	100							
ため	560701		子自旧私选供 了 員出前講座開催					750 750	100							
	560801		ョ山削調座用催 司和教育事業費	不良			15,3	\rightarrow	100							
の事務事業	561701		可似教育事業質_ 市民大学事業費				 	322 842	100							
垩	562101	社云学	教育指導員設置	11/11/11/11/11			1,;	580	100							

平成28年度 単位施策評価表

所属 38100000

生涯学習部 生涯学習課

施策	5202	生涯学習機会の充実		
	事業コード	名 称	トータルコスト(千円)	達成度
	563204	社会教育学級・講座等開設事業費(都賀)	2,150	100
	563901	科学する心を育む推進事業費	5,472	100
	564804	盆踊り開催事業費	2,650	100
	565401	大宮公民館講座等開設事業費	7,586	100
	565501	皆川公民館講座等開設事業費	7,546	100
	565601	吹上公民館講座等開設事業費	7,569	100
	565701	寺尾公民館講座等開設事業費	7,557	100
	569101	図書館振興基金積立金	1,880	100
	583605	西方子ども夏祭り負担金	4,750	100
	717801	図書館個人文庫資料購入費	576	100
	732701	人権教育推進事業費	3,070	100
	562203	成人式開催事業費 (藤岡)	2,027	98
	562206	成人式開催事業費(岩舟)	3,078	98
	563205	社会教育学級・講座等開設事業費(西方)	6,362	98
	538101	青少年健全育成補助事業費	4,061	96
	538201	青少年育成センター運営費(栃木)	8,418	96
単	538202	青少年育成センター運営費 (大平)	2,271	96
位	562105	社会教育指導員設置費 (西方)	2,270	95
	560501	栃木市生涯学習人材バンク事業費	750	93
施	563206	社会教育学級・講座等開設事業費(岩舟)	6,685	93
策	562102	社会教育指導員設置費 (大平)	2,270	92
達	563202	社会教育学級・講座等開設事業費(大平)	8,826	92
	567001	家庭教育学級開設事業費	3,238	92
成	562202	成人式開催事業費 (大平)	1,618	91
၈	562204	成人式開催事業費(都賀)	830	90
	562205	成人式開催事業費(西方)	3,100	90
た	717401	青少年育成支援事業費	4,280	90
め	562104	社会教育指導員設置費(都賀)	3,020	89
၂ ၈	538203	青少年育成センター運営費(藤岡)	2,073	87
	565301	栃木公民館講座等開設事業費	7,780	87
事	565901	学校開放事業費	1,510	87
務	562201	成人式開催事業費(栃木)	5,283	86
	565801	国府公民館講座等開設事業費	7,584	85
事	562103	社会教育指導員設置費(藤岡)	2,720	74
業	563203	社会教育学級・講座等開設事業費(藤岡)	6,872	74
	538206	青少年育成センター運営費(岩舟)	510	50
	562106	社会教育指導員設置費(岩舟)	1,895	46
	560301	生涯学習課一般経常事務費	15,132	1
	560302	生涯学習事務費(大平)	10,978	1
	560304	生涯学習事務費(都賀)	402	1
	560306	生涯学習事務費(岩舟)	55	1
	567501	図書館管理運営委託事業費	233,677	1
	569401	図書館事務費	6,055	1
	746501	地域の魅力発見講座事業費		0
	750001	栃木市民大学 5 周年記念特別講演事業費		0
	750201	図書館資料公民館等配本事業費		0

平成28年度 単位 施策評価表 補表

施策	5202 生涯学	習機会の充	č 実
	妥当性	妥当	生涯学習メニューの充実、地域の多彩な人材の講師としての活用が基本施策の実現へつながるので、妥当である。
	コスト削減の余地	無	市民大学等は適正な受講料を徴しており、講師謝金についても、教育委員会の定めに基づいているためコスト削減は難しい。
区分	受益者負担	適正	市民大学については受講料で講師謝金等をまかなっているので、適正である。
四月	上位貢献度	有効	個々の事務事業の推進による貢献度が高いことから、単位 施策貢献度が高いと判断した。
	類似事業の有無	無	
	成果向上の余地	有	4つの成果指標すべてで目標値を上回っているため、成果 向上の余地ありと判断した。
	貢献度	上位施策	座等の受講者数」増加のための個々の事務事業の推進は、 の目標指針「各種学級・講座受講者満足度」の向上への貢献 ヒ判断した。
内部評価	達成状況	てがが各係学に木下族人は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	果指標すべてで目標値を上回ることが出来た。特に市民大学についの仕方をチラシの班内回覧から全戸配布へ変えたことで受講者数また、関係機関が主催した講座も受講出来るよう、連携を図ったことが数の増加につながった。の受講者の活躍の場について、市民大学では、昨年度より市の関係機関が実施する講座の一部を連携講座と位置付け、より多くのまを提供し、「学びを通したまちづくり実践者の養成」という目的達成よう、受講生のスキルアップを図っている。 げると、平成28年度においては、地域包括ケア推進課主催のよう、受講生のスキルアップを図っている。 はると、平成28年度においては、地域包括ケア推進課主催の、栃川諸座「まちぐるみで認知症高齢者を支える」や、健康増進課主催のまつり、市民公開講座」、國學院栃木短期大学主催の公開講座「家られているもの」や「歴史の中の人間」、その他、市民活動推進セン上催の講座や、市民団体ザ・とちぎ主催の歌麿関連の講座等の連延べ126名の市民大学受講生が出席した。
	課題	代が興味る。また、	の受講者の年齢層が高齢者に傾きがちであるので、若い世を持てるよう、生涯学習メニューをさらに充実させる必要があ講座等の受講者について、学習の成果の活用先についてのや活用の機会をさらに充実させる必要がある。
	取組方針	を持てるよ や出前講座 習メニュー(の受講者の年齢層が高齢者に傾きがちであるので、若い世代が興味 う、地域の多彩な人材が登録している生涯学習人材バンク自主講座 医の実施の継続や、関係機関との連携による講座を増やし、生涯学 のさらなる充実を図る。また、学習の成果を生かし活躍する場を、他 係機関との連携によりさらに増やせるよう、検討を続けていく。

平成28年度

		1水工() 1										_	_									
会	計	一般	款項目 10040)1 予算事業コード 560	0501	事業区分	02 行政的	り事業 新	f規/その他	2	その他				基	本旅	5策			単位	施策	
事	《名	栃木市生涯	E学習人材バンク	事業費								主	5202	生涯学習の	D充実				生涯学習	機会の充実	Ę	
担: 係·	当部部 担当	₹ チーム名	生涯学習部 生涯	王学習課 生涯学習	望 係			担当	者 永田陽一	-		従										
事	美の性	賃 2 自	治事務根拠	処法令等										事業期間				3 年度	全体事 (人件費			90 千円
事業の概要	(事 涯 る。 【	さまざまな 学習ボラン 生涯学習ボ	分野で、活動しタ ティアとして登録 ランティアの活動	は33年度)までに、計 知識や技能を広め 録し、市民からの 動の場として講師 ボランティアを派	たり 学び 同ら	教えたりする意 の要望に応えて が講座を企画・	欲のある市 もらう。 運営する自	か。対象、 ⁱ 方民(団体 自主講座を	^{手段の記入)} 本)を生 を開催す		達成目標 供 供	涯学に開発した。	全習ボラ 全習ボラ 構し、多 全習ボラ ()、イベ	間のない事業に シンティアに シンティア民へ シンティアピペンナ リント開催の	よる自 登録者(学びを 登録者()協力を	主は、団代を提供しています。	講座を年 体)数を 供する。 体)を派	増やすとる 遣し、市E	ともに、さ 民のニーズ	まざまなタ	分野の講師≀ ◇人数での記	支援する が白主講
単	位: I	千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込						j	成 市 施果 生 策目 学 標 人	民力を経済を	て学事業 学習人材 講座等 か会場道	延出席者数 バンク登録 の受講者数 者養成講座	女…平月 最者の記 女…平月 女…平月	及295 舌動↑ 及295 と数	年度で1,2 件数…平 年度で28 平成29	200人(現) 成29年度で ,000人(現	犬値904人) で100件(現 状値25,40 人(理)状値	状値66件) 6人)		
		国庫支出金	0	0	┨┌			平5	 成 2 7 年度		1135 /	(TE F	X ED 1 E ES		上义映日	3 88.	138,23		t 2 8 年度			
		県支出金	0	0		【事業の							[]	事業の	のピ	容】	–	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u></u>			
	事業	地方債	0	0	し、地は	域や市民 講座など	の 様々	学習二- ラな学習	- ズ ₹ 支		. 2	生涯? 学校マ	学省 支持	る人材/ 受活動	(ンクst ・白主語	登録者を 構座・出	·募集し、 前議座:	、地域 を開催				
事	費	その他特財	0	0		- 1/31			•		、市民供する	えの)学習:	ニーズに	講座・出 に応じた	学習の	機会を					
事業費・		一般財源	0	0	内容	• 广起纸	等で登録	禄者募	集記事を	掲載	載した。	個		 	成果】	1			- + ¬	10 ±0 1		
指標														人	登録4	1914	‡、団化	本登録2	長記事を 件	掲載し	た。個	
仮の推	_{人件費 b}									実施	した。 - 質 λ			• 1	年2回	自	主講座	を開催	した。 fi講座を	宇施した	t . -	
移	減值	面償却費 c	0	0	1L	1, 31, 10	·	יאניו 😑	with Hall	/只I ⁱ	———				予算に	は当	上涯学 上涯学	宮課 一角	段経常事	務費に	で。 算入	
総事業費 a+b+c 1.500 750 指標名										算	出方法			Ė	単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	_上位_	類似事業	成果向上
結果指標 1 80.00 105.00 活動件数 1年間の活動件数 1年間の活動性数 1年間の活動性を表現的な 1年間の活動性を表現的な										8目標1	値:80件				件	事業の事後評価	XJI	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
結果指標 2 ボランティア登録件数 年度末に登録されてい 50.00 51.00								録されている	件数	H28目標	値:6	60件		件	評価	妥当	有	適正	有効	無	有	

(改善内容とその効果を具体的に記入)

・生涯学習人材バンク登録者による出前講座及び自主講座を実施し、登録者の活用と、市民の学習の機会を増や

事業改善計画 す。 ・新たな分野の学習相談など、市民からの多様なニーズに対応するため、多くの生涯学習ボランティアの方に登 録してもらえるよう、講師の情報収集・登録者募集の広報などの強化に努める。

平成28年度

	•	1水工() 1												_									
会	計	一般	款項目 10040	91 予算事業コード 560	0801	事業区分	02 行政	的事業	新規 /	その他	2 その	他				基本	施策	:			単位	施策	
事業	【名	人権同和教	汝育事業費										± 5	5202	生涯学習の	充実				生涯学習	機会の充実	Ę	
担系	当部部 担当	果 チーム名	生活環境部 人格	重・男女 大平隣の	保館係			担	当者大	島勝		ĺ	従										
事業		謹質 2 自		L法令等 栃木市集											事業期間				3 年度	全体事業 (人件費)		66,	612 ^{千円}
事業の概要	集記	議院了(事業 会所を通し 或住民が人 主要事業】	期間のない事業は平成 、人権問題を正し 権問題を正しくま	33年度)までに、前 いく理解し、不会 里解し、相互啓発	≹(何)を ↑理な 見してし	:、どういう方法で、 差別の解消を目 いけるようにす	どうしたい6 掲指す。講 る。	のか。対象、 座参加者	、手段の を通 じ	記入) ごて		より着	多く(事業期のふれされる	間のない事業は あいの中で こと。	^{平成339} 、市民	^{拝度)(} が人格	の目標) 産問題 (こついて፤	 Eしく理解	をし、差別		
単 [·]	立: I	千円、人 I	平成27年度決算額	平成28年度決算見込						•	成果	市民 生派 学系	民大学	学事業 習人材 講座等	延出席者数 バンク登録 の受講者数 者養成講座	…平成2 者の活動 …平成2 二平成2	29年度動件数	きで1,2 女…平月 きで28	200人(現状 成29年度で ,000人(現	大値904人) ご100件(現 状値25,40	状値66件) 6人)		
		国庫支出金	0	0	╎┌╴			———— 平	7成 2 7	 7 年度	1示	八竹	往子以下	111年	百官以明任	又明日3	ΖΧ¬	-11 X _23-		28年度			
		県支出金	0	0	_	【事業の							【事	 事業の	内?	<u></u>							
	事業	地方債	0	0	事業	\権問 ↑学習	問題に、 3.終系	全て(・☆・ き	か市	民継			国民的	課是 1) /	頁です ヾ取・	5る人権 1組む当	質問題に 学習・啓	、全て	の市民				
事	費	その他特財	0	0	ゝがこ	・啓発	. :	ルの	1/X		会を	を提供	<i>ί</i> τ	- (i) <	, MI U J	п н	70 ~	71L 0 7 17%					
事業費·		一般財源	5,106	4,822	の内容 そ	で、差別	がふれ J解消に	取り組	まから目むこ	ことがて	き・父が	ルテ	記			找果】 ₽成28	年月	実統		040			
指標		事業費 a	5,106	4,822	の成果	【										主催講座	講》 参加	Ŀ釵 □者数	1, 女 11,	216回 027人			
がの推	人作	‡費 b	10,500	2回																			
移	減值	面償却費 c	0	0,680																			
	総事業費 a+b+c 15,606 15,322 指標名											ž			— 単	位	*	当性	コスト 削減の	受益者 負担	_上位	類似事業	成果向上
	結果指標 1 講座数 講座数 講座数 (自主事業 1,152.00 1,216.00										H 28目標	値 75	50回		Į.	i位 事業の事後部 1		ᆿᄄ	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
結果指標 2 参加人数 参加人数 参加人数 を加入数 (自主事業を関する) はままで は 10,680.00 は 11,027.00									事業を除く)) H28≣	標値	9,000	0人	,		F 3	妥当	無	適正	有効	無	有	

(改善内容とその効果を具体的に記入)

事業改善計画 1.より多くのふれあいの中で、人権問題への正しい理解と不合理な差別解消に向けた講座や地域ふれあい事業の充実に努めた。 2.多くの市民の参加を得るため、集会所の学習環境の改善を図った。

	_	棣式	1								1473 *	1 41 15 -34	373	3. XX H I	-	_							T11X 2	0 十皮	
会	計	一般	款項目	10040	1 予算事業コード	561	701	事業区分	02 行政的	的事業	新規。	/ その他	2	その他				į	基本点	施策			単位	施策	
事第	绾	栃木市	民大学事業費												主	5202	生涯学習	の充実	1			生涯学習	機会の充乳	Ę	
担当係・	部部 担当	₹ チーム名	生涯学習	部 生涯	E学習課 生》	涯学習	係			担当	当者	永田陽一			従										
			自治事務		法令等												事業期間		2 4		3 年度	全体事 (人件費		5,	276 千円
事業の概要		議完了(民の多材 共するが るテーマ 主要事業		業は平成 する学習 の歴史や マを決め	33年度) まで 3二一ズに対 ウ文化を主に ウて、年間力	に、誰 が に い は い は い ま り り り り り り り り り り り り り り り り り り	(何)を ると ちづく ュラ	、どういう方法で、 ともに、出会い くりに関する基 ムを組んだセミ	どうしたいの ハ・交流・イ いを流・イ いたなこの では、 いたでは、 いたいだい。 いたいでは、 いたいでは、 いたいでは、 いたいでは、 いたいでは、 いたいでは、 いたいでは、 いたでは、 にとは、 いたでは、 いたでは、 にとは、 にとは、 にとは、 にとは、 にとは、 にとは、 にとは、 にと	か。対象、中間づくとや市民をする。	手段の対象協働	の記入) 場を に関		達 市民	業完了記が学	≥んだこ	間のない事業 . とを様々	は平成は	33年 の場	度)の目標) で還元で	きる機会な	を提供し、	学習の成界	見が活かせ	
単作	立:	千円、. I		E決算額	平成28年度決算	算見込							方	成 市 施果 生 策目 学	 民大 涯学 経数	文学事業 学習人材 講座等 教育指道	延出席者 バンク登 の受講者 者春成講	数…平 録者の 数…平 座受講	成29 活動 成29 老数	年度で1, 件数…平 年度で28	200人(現4 成29年度で ,000人(現 年度で100	状値904人) で100件(現 !状値25,40)人(現状値	状値66件) 6人) 40人)		
		国庫支出	出金	0		0				平	成 2	7年度		134 7	(IE3)	×193143	- LI CONNET	<u></u>	, 11 x	13,20		t 2 8 年度			
		県支出	金									事業		内容】											
												·マを選 ミナー:	をす	し、年皇施する	間 5.								'を選定 ーを10		
事	素										ラヴタ	くりを! 東・医	学ぶ	Šĩ	- 0		施	する	,	学ぶ		ここへ づくりを		4131227	
事業費・		一般財	源	63		0		【成果】				•		_ •			_	現代	社	テハ 会を学ん			子ぶ 療を学	Jì.	
指標		Table 1									組	んたせ	ミフ	ケーを1	1講	į	.	成果 年間	!】 カリ	リキュ	ラムを約	且んだセ	ミナー	を11講	
の	の 人件費 b 7.500 7.500 果 ・ 上記講座の他に、現地等 推 7.500 た。									学習1請	極	を実施	し		座	実施			T. 現均	b学習2割	講座を実	≅施し			
移	減值	面償却費	E C	0		0		, C .									た) HT 3 /-						
	総事	業費 a+b	+ c	7,802	_ 7.	,842		指標名					算	出方法				単位	事業の事	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位	類似事業	成果向上
	結果	果指標 '	1	11.00	13	3.00	実施講	講座数		年間カリ	キュラ	るに組み込	∖んだ	講座数	H 28	目標値:	10講座	講座	の事後	女当性	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
結果指標 2							———— 請者数 ⊦	128目	標値:700/	λ			人	後評価	妥当	無	適正	有効	有	有					

(改善内容とその効果を具体的に記入)

|事| (対義内容とその効果を具体的に記入) |素 栃木市民大学で学んだ成果を様々な場面で活用してもらう仕組みづくりを行うため、庁内関係各課や関係機関と |改 |連携し、双方の講座情報の提供や連携講座の開催などを通し栃木市民大学の枠の中で、受講生に包括的な学習プ |善| ログラムを提供していきたい。 |計 | 画 |

平成28年度

		176.70																					
会	計	一般	款項目 10040)2 予算事業コード 563	3202	事業区分	02 行政的	的事業	新規/	/ その他	2	その他				į	基本於	拖策			単位	施策	
事第	(名	社会教育学	2級・講座等開設	事業費(大平)									主	5202	生涯学習の	の充実	E			生涯学習	機会の充乳	Ę	
担当係・	部課担当:	₹ チーム名	生涯学習部 公臣	民館課 大平公民館	館係			担	当者源	度辺由夫			従										
事業		質 2 自		処法令等											事業期間	I		~ H3	3 年度	全体事業 (人件費		10,	000 千円
事業の概要	公自子冒	民館学級・ 主学級・講 ビも会リー	^{期間のない事業は平成} 講座開設 座の推進 ダー研修事業 ベント事業	₹33年度)までに、計	推(何)を	、どういう方法で、	どうしたいの	か。対象	東、手段 <i>の</i>	の記入)	1)	達 公民 子と 目 標	館学	⋭級・講 ☆リーダ	間のない事業は 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	\$執行 冒険遊	では	主活動の	事業実施し	ノ、子ども		育成を図る。	
単作	立: ⁻	千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込							施策	成果目標	民大選が	学事業 智人材 講座等	延出席者数 けバンク登録 の受講者数 す者養成講座	数平 录者の 数平	成29 活動 成29	年度で1,2 件数…平 年度で28	200人(現場 成29年度で ,000人(現	犬値904人) で100件(現 状値25,40	状値66件) 6人)		
		国庫支出金	0	0	┆┌╴			Σ	平成 2	7年度			、作曲的	(月11年	自食以碘性	至又神	百奴	+ ///,29		7. (現代) [1] [2. 8 年度			
		県支出金	0	0								事業	 の P	内容】									
	事	地方債 その他特財	0	0	没 佳						公	民館	学》	り容】 及・講座の ・講座の	を開設 ひばば								
事	費	その他特財	0							リ・	ータ	`一句	开修事業	É	ı¢								
事業費・		一般財源	1,363	1,326	- 容 - そ	冒険遊び 【成果】							_			成果	!]		ノト事業				
· 指 標		事業費 a	1,363	1,326	Hの	・公民館講があっ	た。									公氏 した		萬座を2	1講座開	見催し、	1,584人	、が受	
(場合) (場合) (場合) (場合) (場合) (場合) (場合) (場合)										ゾ場イへ ≆し、 ⊿	いる	/ト事業 のイベ	€を		• -	大平	子と	ども会育 冒险游7	育成会に が場イク	こ委託し ベント事	て、リー	ーダー 催し	
移 減価償却費 c											<u>—</u>		_		441	1人7	が参	加した	0	·/ I +	ж с ілі		
総事業費 a+b+c 8.863 8.826 指標名											算出	出方法			È	単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者	_上位_	類似事業	
結果指標 1										直:25件						件	事業の事後評価	XJI	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
A									直:1,000人						人	評価	妥当	有	適正	有効	無	無	

(改善内容とその効果を具体的に記入)

事後評価備考

事業改善計画

公民館の学級・講座並びに自主活動の推進を図る。 |子ども会リーダー研修・冒険遊び場イベント事業実施し、子どもの健全な育成を図る。

平成28年度

		1水工() 1												_									
会	計	一般	款項目10	00402 予算事	事業コード 563	203	事業区分	02 行政	的事業	新規 /	その他	2 その(b				基本点	施策			単位	ī施策	
事美	€名	社会教育	『学級・講座等	開設事業費	費(藤岡)								主	5202	生涯学習(の充実	€			生涯学習	機会の充	実	
担主係・	当部語 担当	₹ チーム名	生涯学習部	公民館課	藤岡公民館	係			担	当者長	澤忠宏		従										
事業			自治事務	根拠法令等											事業期間	Н	1 8	~ H3	2 年度	全体事 (人件費		5,	880 千円
事業の概要	┃ጬ▮	業完了(事 民の学習 次を支援 主要事業	業期間のない事業 意欲に応えるよ する。 	^{は平成33年底}	夏)までに、誰 学級・講座	(何)を 等の	、どういう方法で、 充実を図 り 、付	どうしたいの E民が自ら!	か。対象、 学ぼうと	、手段の記さする学	記入) 全習	達成目標	種学組	吸・講座	間のない事業を等の円滑な	は執行	で	主活動の	推進を図		·		
単	立:	千円、人	平成27年度決	算額 平成28	年度決算見込							成制 施果 標 標	市民	大学事業 学習人材 ・講座等 数容な道	延出席者数 ガンク登録 の受講者数 する養成講座	数…平 録者の 数…平	☑成29)活動 ☑成29	年度で1, 件数…平 年度で28	200人(現 成29年度 3,000人(現	状値904人) で100件(現 以が値25,40	状値66件) 6人)		
		国庫支出金	È	—————————————————————————————————————	7成27	 7 年度	1示	八惟	双月1日与	百食以明!	主又味	如双	+111,23		发28年度								
	県支出金 0 0 [事業内容]														[事業	 (内	 容】					
	Table Ta										·、フラ -	メンニ	、男	3		各種 行う	学	汲、講,	座等の開	開催、学	習支援	などを	
事																成果	₹ 】	{h 1	○誰応	ヹ゙ヹゕ゙゠	2 🗔		
事業費・		一般財源	į	352	347		神座用作 受講者数	愛X I 8	1 神母		<u>€</u> べ55	凹			一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	座 講者	催数 数		9神座 ,13 [・]	延べ 5 1 人	3 凹		
指標	指 事業費 a																						
の 人件費 b 6.525 1																							
移	減值	直償却費	С	0	0																		
総事業費 a+b+c 6.877 6.872 指標名										1	算出方法			Ī	単位	事業の	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位	類似事業	成果向上	
結果指標 1 55.00 19.00 講座数 各種学級・講座の									D合計数 Hi	28目標値:4	.0			講座	事業の事後評価	<u> </u>	余地	貝担 	貢献度	の有無	の余地		
結果指標 2 858 00 1 131 00 講座参加者数 各種学級·講								・講座の	 D参加者数(延べ人数)	H28	 目標値:9	00	人	評価	妥当	無	適正	有効	無	有		

(改善内容とその効果を具体的に記入)

- ・各種学級・講座等の充実を図った結果、講座数、参加者数共に増加した。 ・公民館利用団体の底上げを目的に、各種サークル等の協力を得ながら講座を開催した。 ・幅広い年齢層に参加してもらうため、市民のニーズを把握することに努めるとともに、他地域との連携講座な どについて検討していきたい。

平成28年度

		176.70																				
会	it i	一般	款項目 10040)2 予算事業コード 563	3204	事業区分	02 行政的	り事業 新	fi規 / その他	2	その他					基本的	施策			単位	施策	
事業	名	社会教育学	と級・講座等開設	事業費(都賀)								主	5202	生涯学習	の充写	Ē			生涯学習	機会の充乳	実	
担当係・	部課担当:	! チーム名	生涯学習部 公民	民館課 都賀公民館	館係			担当	者 大塚崇行			従										
事業	の性	質 2 自	治事務根拠	処法令等 社会教育	法									事業期間	ΙН	1 8	~ H3	3 年度	全体事 (人件費		3,	066 千円
事業の概要	各種を支	^{業完了(事業} 重学級・講 を援する。 E要事業】	期間のない事業は平成座を開設するとの	(33年度) までに、計 ともに自治会での	^{誰(何)})学 習	を、どういう方法で、 習会を推進して、	どうしたいの。 地域住民の	か。対象、)交流や自	手段の記人) 自己教育		達 ^{魅力} 成 目 標	ある	諸座を		参加者	首数(延べ人数		曽加するよ			Ì
単化	立: ·	1130 /	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	<u>\</u>					加爾	成果目標	民学級権	文字事業 学習人材 講座等 教育指道	延出席者 バンク登 の受講者 お春成講	数斗 録者の 数斗	Z成29 D活動 Z成29 基者数	年度で1, 件数…平 年度で28 平成29	200人(現 成29年度で ,000人(現 年度で100	犬値904人) で100件(現 状値25,40 人(現状値	状値66件) 6人) 40人)		
		国庫支出金	0	0	4Г			平5	 成 2 7 年度		115 /	(IE 7)	VH104		/王文 #	7 C XX	13,20		t 2 8 年度			
		県支出金	0	0	<u> </u>	_ 【事業内	容】								事業	€内額	——— 容】					
	事業	地方債	0	0	事 第	【事業内・住民の 座等の充	学習意符	次に応え	えるよう 足が白な	各種学に	重学級、	講 トス	į		住日	შთ\$	学習意答	次に応え	えるよう Rが自ら	各種学	級、講とする	
事		その他特財	0	0	σ. 内 控	71 子首总创	で支援で	する。	いからう] lc	x	, ₂		学	'習意	ない	を支援し	力に、正し	(n, E 2	ナはノ	C 9 2	
事業費・		一般財源	1,095	650	Ш	• 抽 世学	習活動に	こおい	ての援助	を図	図りなか	バら		•	成果 地垣	学	望活動!	こおいて	この援助	を図り	ながら	
指標		事業費 a	1,095	650	そ の.	5 、公氏館 高齢者	事業の指 対象・3	寄与する。象・子ど	, も対	寸象講点	Ē		\	公日高齢	部分者分	事業のタ 付象・3	匪進に≧ 女性対象	いいます。	も対象	講座		
の	人件	-費 b	750] 第	リーダ	「一研修会	゙ グまつり						子首	ī T i	講座、	自治会均	地域学習	等			
推 移	減価	「償却費 c	0	0,000	1L	1111月代	サ スフォ			<u>,971人</u>									延べ1,	861人		
	総事	禁費 a+b+c	1,845	2,150		指標名				算出	出方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	_上位_	類似事業	成果向上
	結男	早指標1	80.00	6.00	講座	函数	ŧ	各種学級・	講座の合計数	Н	28目標値:	6講座	Ā		講座	事業の事後評価	XJI	余地	負担 	貢献度	の有無	の余地
結果指標 2 講座参加者数 各種学級・講座の参加者								講座の参加者数	枚(延^	(人数)	H 28	8目標値:	: 1,200人	人	評価	妥当	無	適正	有効	有	有	

(改善内容とその効果を具体的に記入)

各講座については様々なメニューを企画し、参加者が生きがいをもてるような魅力ある講座を開設した。 体験を通じて、さまざまな基礎知識を得たり、地域の講師、親子のふれあいにより地域力の向上力を上げられる ような講座を開催した。 自ら学ぼうとする市民の学習を支援し、学習後の社会貢献活動を行える人材の育成に努めた。

事業改善計画

平成28年度

	•	1水工/	' '													_										
会	計	一般		款項目 10	0402 予算事	事業コード 563	3205	5 -	事業区分	02 行政	的事業	新規	見 / その	の他	2 その他					基本	施策			単位	ī施策	
事業	《名	社会教	育学	- 級・講座等開	開設事業費	費(西方)										主	5202	生涯学	習の充	実			生涯学習	機会の充	実	
担 係•	当部語 担当	果 チーム 1	名	生涯学習部	公民館課	西方公民館	官係				担	⊒当者	大森	晴美		従										
事業	美の性		自	治事務	根拠法令等													事業期	間 H	123	~ H3	3 年度	全体事 (人件費		4,	390 千円
事業の概要	(事 各利 【 E		開設	^{期間のない事業は} に伴う事業費		度)までに、誰	(何)	を、ど	ういう方法で、	どうしたい	のか。対象	象、手	段の記入)	達幅原規制	広いt	世代が参	かでき	るようフ	な新規		設し、展開				
単·	位: I	千円、 I	人	平成27年度決算	算額 平成28	年度決算見込									成 施果 策目	市民ス 生涯学 学級	大学事業 学習人材 ・講座等 数容を追	延出席がソクラの受講	者数 ³ 登録者(者数 ³	平成29 の活動 平成29	年度で1, 件数…平 年度で28	200人(現4 成29年度で ,000人(現	犬値904人) で100件(現 !状値25,40)人(現状値	状値66件) 6人)		
		国庫支持	出金		0	0					3	平成	2 7年	 度	【示 】 。	八作在子	以月1日年	自食风	再座文章	再日如	+ 13,29		<u>次(現</u> 4) 128年度			
		県支出金 0 0 [事業内容]																	【事業	業内	 容】					
	事 地方債 0										開設	Į.					•	公民館	官学	級・講屈	座の開記	殳				
事	素																	【成身	具】	8 講座						
事業費・		一般財	掠	3	369	362	Ш	7	再座奴 延べ参加			7人										766/	(
指標		事業費 a																								
lの	の 人件費 b 5,250 6,000 ^果																									
移	減値	西償却貿	費c		0	0																				
	総事業費 a+b+c 5,619 6,362 指標名											Ĵ	算出方法				単位	事業の	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位	類似事業	成果向上		
結果指標 1 講座数 講座数 各種学級・講座の記録 1 1 1 1 1 1 1 1 1									座の合言	†数 H	28目標値	7 講座			件	事業の事後評価		余地	貝担 	貢献度	の有無	の余地				
結果指標 2 講座参加者数 各種学級講座の参加者 1								 皆数(延	ベ人数)H	28目標	値 80	0人	人	評価	妥当	無	適正	有効	無	有						

(改善内容とその効果を具体的に記入)

- ・講座を8講座開設し、1講座6~10回程度のシリーズものを昨年度と違った内容を取入れて企画したが、どの講座も7割以上の参加があった。 ・今後においても生涯学習の推進に繋がる講座の展開に努めて行きたい。
- 事業改善計画

栃木市事務事業評価表

平成28年度

		惊エ ー												_								0 +152	
会	計	一般	款項目 10040)2 予算事業コード 563	3206	事業区分	02 行政的	的事業	新規,	/ その他	2	その他				į	基本於	施策			単位	施策	
事第	쇰	社会教育学	2級・講座等開設	事業費(岩舟)									主	5202	生涯学習	の充実	Į.			生涯学習	機会の充実	Ę	
担当係•	部課 担当:	₹ チーム名	生涯学習部 公日	民館課 岩舟公民館	官係			担当	当者 耳	尾林俊保			従										
事業	(の性	質 2 自	治事務 根i	処法令等 社会教育	法										事業期間	Н 2	2 6	~ H3	3 年度	全体事第 (人件費		2,	517 千円
事業の概要	• 1	議院了(事業 主民の学習 を支援する 主要事業】	意欲や学習課題	833年度)までに、計 を把握し、学級・	≹(何)を 講座€	、どういう方法で、 等の充実を図 <i>り</i>	どうしたいの 、自ら学!	か。対象、 ぼうとす	、手段の る学	か記入) 習意	達成目標				間のない事業: : る個人の?					への活動と	なるような	↓ ↓人材育成 [₹]	
単位	立: ⁻	千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込							施男	市生 学	民大き	学事業 智人材 講座等	延出席者は	数…平 録者の数 数…要	成29 活動 成29	年度で1, 件数…平 年度で28	200人(現 成29年度で ,000人(現	犬値904人) で100件(現 状値25,40 人(現状値	状値66件) 6人)		
		国庫支出金	0	0	$ \Box$			———平	成 2	 7 年度	1 13	<u>示 ハ</u>	、作曲子)	(月11年	百食以碘/	坐又禑	日奴	+111,23		<u>ス(現状間</u> え28年度			
		県支出金	0	0								[事業	内容	 字】								
	事業	地方債 その他特財	0	0	うえる F 民 #	るようき が自らき	ら種? グぼ?	学級、 うとす	講 トる		· 巫	住民	,の 介 国	学習意怨 『を図』	次に応え) 住目	えるよう えが自ら	各種学行	級、講 とする					
事	費	その他特財	0	0		, до	, , ,	,			学	習意成果	欲を	支援	する。	V/3 H D	, 100						
事業費・		一般財源	485	310) 内容 - そ	【成果】・地域学	習活動	におい	170	の援助る	を図り	りなか	バら		•	地域	学習			この援助		ながら	
指標		事業費 a	485	310	の成	、公氏館 	事業の	推進に	_奇-	っした。					`	公氏	: 阳 =	手業の}	住進に言	いい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	0		
がの推	人件	人件費 b 6,375 6,375																					
	減侃	面償却費 c																					
	総事業費 a+b+c 6.860 6.685 指標名											方法				単位	事業		コスト	受益者	上位	類似事業	成里向 上
結果指標 1 50.00 第.00 講座数 各種学級・講座										の合計数	10					講座	事業の事後評価	妥当性	コスト 削減の 余地	受益者 負担	貢献度	の有無	の余地
	結果指標 2 703.00 第座参加者数 各種学級・講座の延										者数	600				人	評価	妥当	無	適正	有効	無	有

(改善内容とその効果を具体的に記入)

・自ら学ぼうとする市民の学習を支援し、学習後の社会貢献活動を行える人材の育成に努めた。

事業改善計画 事後評価備考

栃木市事務事業評価表

平成28年度

_	_	棣式 🤅	1								1473	· · · 3	- 575	3 - XCH I	- 111	-							T11X 2	0 十皮	
会	計	一般	款項目	100401	予算事業コード	5639	901	事業区分	02 行政	的事業	新規	1/その他	2	その他					基本的	施策			単位	施策	
事業	《名	科学する	る心を育む推	進事業費	#										Ħ	5202	生涯学習の	の充実	実			生涯学習	機会の充乳	実	
担主係・	当部部 担当	₹ チーム名	生涯学習部	耶 生涯	学習課 青少	午係				担	□当者	落合崇			従										
事業	美の性	質 2	自治事務	根拠》	法令等												事業期間	Н	1 9	~ H3	3 年度	全体事		5.	513 千円
事業の概要	(事 子) の 【 I	^{業完了(1} どもをに 育成を行 主要事業	はじめとする市 うう。	業は平成3 5民の科	3 3 年度) までに 学に対する知	二、誰() 知的如	何)を、 子奇 /i	、どういう方法で、 心や探究心を育	どうしたい 育み、科学	lのか。対象 ≟的な見 :	家、手段 方や考	受の記入) 考え方					間のない事業 ひとする市门					や探究心を	ーー・ 育む。		
単位	位: [千円、人		決算額	平成28年度決算	見込							Ì	成果目	「民力 と涯学 と級・ 人権教	大学事業 学習人材 ・講座等 教育指導	延出席者 ガバンク登録 の受講者 は で で で で で で で で で が で が が で が で で で が に で で が で う で う で う で う で う で う で う で う で	数 ² 録者0 数 ² 座受調	F成29 D活動 F成29 構者数	年度で1, 件数…平 年度で28 …平成29	200人(現 成29年度で ,000人(現 年度で100	犬値904人) で100件(現 状値25,40 人(現状値	状値66件) 6人) 40人)		
		国庫支出		0		0				3	平成 2	2 7年度	•									2 8 年度			
		県支出	_	0		0	車	【事業の	内容】	» #	+ 7	+00	1 N 22	' 41— 4 4-	+ 7		1	事業	ξの[内容】	ь L + 2	7 ± □ ~	47 24 1— :	\	
	Table Ta											市氏の	件) 学的	かな見り	りつけ)	知	的好	子奇/	心や探え	究心を育	る市民の 資み、科	学的な	刈りる 見方や	
事	費	その他特	i財	362		_	内容		育成を	行う。	•						考	えた成果	うの?	育成を行	行う。				
事業費・		一般財法	原	343	2	222	~	・サイエ	ンスス	クー	ルを	7回開催	<u></u> ≢	、受講	者6	6		サイ	(I)	ソスス	クールを	27回開	崖し、受	議者1	
指標	指 事業費 a 705 222 の ができた。									の渕心	æ	うりつい					こさり		件子 に Ӽ	寸する関	ルを向	めるこ			
の	の 人件費 b 6,000 5,250 果																								
移	減値	質却費	ł c	0		0																			
総事業費 a+b+c 6.705 5.472 1.700											算	出方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位	類似事業	成果向上		
	結系	果指標1	6	38.00	1,098.		受講者			年間の発	延べ受詞	講者数 H28	目標(直 600人				人	事業の事後評価		余地	具担 	貢献度	の有無	の余地
結果指標 2 講座回数 年間の延べ講座開催数								 座開催数 ト	128目	票値 7回			_		評価	妥当	無	適正	有効	無	有				

(改善内容とその効果を具体的に記入)

・サイエンススクールを通した体験活動は、子ども達が「社会を生き抜く力」を養うための教育的効果が高く、 高等教育機関、民間企業及びNPO等と連携した講座を実施することが不可欠である。

事業改善計画

事 横式 /

栃木市事務事業評価表

平成28年度

_	_	棣式 1								1440 - 1 -		J J - > C H		_							1 /3% 2	0 千皮	
会	計	一般	款項目 10	0402 予	・ 第事業コード 565	5301	事業区分	02 行政	的事業	新規 / -	その他	2 その他				基	本施	策			単位	施策	
事業	業名	栃木公民飢	官講座等開設事	業費		-							主	5202	生涯学習の	D充実				生涯学習	機会の充	実	
担急係・	当部課 担当	 ♥ チーム名	生涯学習部	公民館記	課 栃木公民館	官係			担当	i者 大村	橋幸子		従										
事業	業の性	質 2 自	治事務	根拠法令	令等 社会教育	法			•	•					事業期間	H 1	8 -	~ H3	0 年度	全体事業		2.	703 千円
事業の概要	(事 積 【 I	^{業完了(事業} 極的な学習 主要事業】	^{期間のない事業は} 活動の推進と	平成33 仲間意	年度) までに、龍 識の向上のた	ŧ(何)を: :め、2	、どういう方法で、 公民館自主講 <i>座</i>	どうしたい を開設す	のか。対象、 ⁻ る。	手段の記	記入)	達構成目標	座の内	容を工	間のない事業 夫し、参加	旧者を増	曽加る	させる。			•		
単·	位:	千円、人	平成27年度決算	算額 平成	28年度決算見込							成 原	5民大 と涯学 学級・	学事業 智人材 講座等	延出席者数 バンク登録 の受講者数 者養成講座	女…平成 最者の活 女…平成	戊29年 舌動作 戊29年	∓度で1,2 牛数…平/ ∓度で28	200人(現物 成29年度で 000人(現	大値904人) ご100件(現 状値25,400	状値66件) 6人)		
		国庫支出金		0	0	$ _{\square}$			平月	成27	 7 年度	標	人権教	双	·者養成講》 	L 受講者	旨 数	平成29		人(現状値 : 2 8 年度			
		県支出金		0	0		 【事業の	内容】							[事業(の内]容】	1 7-2	7 - 0 1/2	-		
	事業費	地方債		0	0	事業	女性学級 カルチャ							•						子ども 諸座を			
事	費	その他特財		0	0	の内容	【成果】				, <u>/</u>	IE / 9/6			֓֞֞֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓	成果】		催数	9講座) TO 1 E	ο,	
業費・	- ^{般財源} 286 280 _そ 参加者数 2,447人												参加			9神座							
指標		事業費 a	2	286	280	 の 成果																	
がの推	人作	‡費 b	7,5	500	7,500	巣 																	
移	減個	面償却費 c		0	0																		
	総事	■業費 a+b+c	7,7	⁷ 86	7,780		指標名				Ĵ	算出方法			<u>i</u>	単位	事業の事	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	_上位	類似事業	成果向上
	結身	果指標 1	7.	.00	9.00	講座数	汝		各種学級・	講座の	合計数 H	28目標値 7	講座			講座	の 事 後	ДПЕ	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
	結身	果指標 2	2,447.		2,373.00	講座参	参加者数		各種学級・	講座の)参加者数(延べ人数)	H 28	目標値(3,200人	<u></u>	· 後 評 価	妥当	無	余地有	有効	有	有
事業改善計画	広		その効果を具体 · ラシ等を 活)増加]をめざして	いく。															

事 ***1

栃木市事務事業評価表

平成28年度

_=		惊八 I										_								1 7-20 =	0 7152	
会	計	一般	款項目 100	402 予算	算事業コード 5654	101	事業区分	02 行政	的事業新	規/その他	2 その他	ı			3	基本旅	施策			単位	施策	
事業	(名	大宮公民館	官講座等開設事	業費		-						主	5202	生涯学習	の充実	2			生涯学習	機会の充乳	実	
担注係・	部課担当	! チーム名	生涯学習部 2	以民館課	果 大宮公民館	係			担当律	者 小島佳栄		従										
事業	€の性	質 2 自	治事務	艮拠法令	等 社会教育法	±								事業期間	Н:	2 5	~ H 3	3 年度	全体事		1	018 千円
事業の概要	積極						、どういう方法で、 公民館自主講座			月段の記入)	達は各成目標	講座⊄	の内容を	間のない事業 充実させ.	、満足	度の	高い講座	を開設・道				0.101
単位	立: ⁻	千円、人	平成27年度決算	額 平成2	28年度決算見込						成 施果 策目	市民力 生涯学 学級・	大学事業 学習人材 ・講座等	延出席者 バンク登 の受講者	数…平 録者の 数…平	成29 活動 成29	年度で1,2 件数…平 年度で28	200人(現制 成29年度で ,000人(現	犬値904人) で100件(現 状値25,40	状値66件) 6人) 40人)		
		国庫支出金		0	0	П			亚村	 ┇27年度	標	人権教	效育指導	i 者養成講』 ────────────────────────────────────	座受講	者数.	…平成29)人(現状値 1,28年度			
		県支出金		0	0		 【事業の							<u> </u>	事業	の は		7-11)	(Z O + /S	2		
	事	地方債		0	0	事業	女性学	級、高	齢者学系 売業 広る	級、少年少 を開設する	女サー	クル	,		女性	学約	0、高幽		及、少年 E開設す	少女サ	ークル	
事	事業費	その他特財		0	0	の内容	【成果】		食碑座で		•				成果	1		で神座で				
事業費・		一般財源		62	86	谷 そ	講座開 参加者			6 1 1 0 0	 第座)人				講座参加	:開惟 者数	重妥X 女		1 2 0	講座 3 人		
指標		事業費 a	(62	86	での成果																
仮の推	人件	·費 b	7,50		7,500	黛																
移	減価	插償却費 c		0	0																	
	総事	業費 a+b+c	7,56	62	7,586		指標名				算出方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者	上位		
	結男	R指標 1	6.0	00	7.00	講座数	X		各種学級・詩	講座の合計数	H 2 8 目標値	6講	座		講座	事業の事後評価	ДЭЦ	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
	結男	具指標 2	1,100.0	00	1,203.00	講座参	参加者数		各種学級・詞 0人	講座の参加者数	(延べ人数)	H 2	8 目標値	1,00	人	評価	妥当	無	適正	有効	有	有
事業改善計画	受	講生への	その効果を具体的 アンケート 極的に参加	を実施	施し、地域・	住民資質	ピのニーズに 【の向上を図	——— 沿ったi る。	黄座を開													

平成28年度

		1水工(_									
会	計	一般	款項目	100402 予	算事業コード 565	501	事業区分	02 行政	的事業	新規。	/ その他	2 そのf	b				基本的	拖策			単位	ī施策	
事美	€名	皆川公[民館講座等開記	ひ事業費 しんしん しんしん しんしん かいしん しんしん しんしん しんしん しんしん									主	5202	生涯学習	の充写	Ę			生涯学習	機会の充	実	
担 係•	当部語 担当	₹ チーム名	生涯学習部	公民館部	果 皆川公民館	係			担	当者 高	高田佐智代		従										
事業	€の性	質 2	自治事務	根拠法令	等 社会教育	去									事業期間	Н	1 8	~ H3	3 年度	全体事 (人件費		1,	023 千円
事業の概要	積机	議完了(職的な学 主要事業	習活動の推進	^{銭は平成33年} と仲間意	年度) までに、誰 識の向上のた	(何)を め 、 2	:、どういう方法で、 公民館自主講座	どうしたい6 Eを開設す	か。対象 る。	快、手段6	の記入)	達成目標	座の「	内容を工	間のない事業 [夫し、参)	加者を	を増加	させる。					
単位	立:	千円、ノ	平成27年度》	夬算額 平成	28年度決算見込							成 施果 策目	市民法	大学事業 学習人材 ・講座等	延出席者 がシク登 の受講者	数斗 録者の数斗	F成29 D活動 F成29	年度で1, 件数…平 年度で28	200人(現場成29年度) ,000人(現	犬値904人) で100件(現 状値25,40 人(現状値	状値66件) 6人)		
		国庫支出	金	0	0				<u> </u>	平成 2	 7年度	作示	八惟	双月拍与	自食 (以) 神	坐文部	自白奴	平成29		<u>次(現状値</u> t 2 8 年度			
		県支出	金	0	0		【事業の								1	事業	 \{\	内容】					
	事業費	地方債		0	0	事業	女性学 および教	級・高	齢者す を開き	数室 ひする	・小学生 ス	講座の	開設	Ž		女性	ŧ学約	及・高幽	診者教室 を開設す	≧・小学 サース	生講座	の開設	
事	費	その他特	財	0	25	の内容			C 171) II.	ix ,。 4講						成果	₹ 】						
事業費・		一般財源	原	72	21	 	神座院 参加者	数		4調 640						参加	区開作 口者数	EXX 数		講座 92人			
指煙	指 事業費 a 72 46 成 成																						
がの推	人作	費	b 7	7,500	7,500	果																	
移	減值	質却費	c	0	0	L																	
	総事	≇業費 a+b·	+ c -	7,572	7,546		指標名					算出方法				単位	事業の	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位	類似事業	成果向上
	結算	果指標 1		4.00	4.00	講座数	数		各種学級	及・講座	の合計数 H	28目標値 4	講座			講座	事業の事後評価	\	余地	貝担 	貢献度	の有無	の余地
	結則	果指標 2		10.00	602 00	講座参	参加者数		各種学級	 及・講座	の参加者数(延べ人数)	H28	目標値 58	60人	人	評価	妥当	無	余地有	有効	有	有

(改善内容とその効果を具体的に記入)

- ・講座内容の充実を図り、参加者を増加させた。 ・公民館だよりへの掲載や、周知チラシの作成など、積極的な広報活動を行った。

事後評価備考

事業改善計画

栃太市車務**車**業郭価夷

では20年度

-	_	棣式 1										V. V. H. I									1 /3% 2	0 十皮	
会	計	一般	款項目 100	402 予算事	#⊐−ド 5 65	601	事業区分	02 行政	的事業	折規 / その他	2 =	その他				基	基本於	施策			単位	施策	
事業	能名	吹上公民飢	官講座等開設事	業費									主	5202	生涯学習	の充実				生涯学習	機会の充乳	実	
担急係・	当部部 担当	果 チーム名	生涯学習部 2	公民館課	吹上公民館	係			担当	者指出孝則			従										
事業	美の性	性質 2 自	治事務	艮拠法令等	社会教育活	ŧ.			·						事業期間	H 2	2 2	~ H3	3 年度	全体事業 (人件費)			912 千円
事業の概要	積						、どういう方法で、 公民館自主講座			手段の記入)	達成目標	 講座 	(の内)	容を工	間のない事業 夫し、参加	加者数	を増	加させる		•			· · =
単·	位:	千円、人	平成27年度決算	額 平成28年	F度決算見込 -						施男	成 市 長 生 3 学	民大 涯学 級・	学事業 習人材 講座等	延出席者がシスク登りの受講者	数…平 録者の 数…平	成29 活動 成29	年度で1,2 件数…平月 年度で28	200人(現状 成29年度で .000人(現	状値904人) €100件(現 状値25,40 人(現状値	状値66件) 6人)		
		国庫支出金		0	0	П			—————————————————————————————————————		村	票 人	権教	育指導	者養成講	亚受講	者数	…平成29		人(現状値 2 8 年度			
		県支出金		0	0		 【事業の	内容】							ľ	事業	のア		1 7-2	. 2 0 -132	-		
	事業費	地方債		0	0	事業	女性学	級、高	齢者教	室、子ど [:] 養講座を	もサ- 碧健7	ークリ ta	活			女性	学約	及、 高歯	冷者教室 16 教養	☑、子ど 養講座を	もサー	クル活	
事	費	その他特財		0	0	の内容	【成果】				力压	9 2 0.			1	成果])			3 0	
事業費・		一般財源	9	98	69	谷	開催 参加	講座数 者数	8 2	講座 2 人								≸座数 ≦数		4講 949			
指標		事業費 a	Ç	98	69	Iما																	
がの推	人作	牛費 b	7,50	00	7,500	成果																	
移	減值	画償却費 c		0	0	Ш																	
	総事	事業費 a+b+c	7,59	98	7,569		指標名				算出力	方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者	上位	類似事業	成果向上
	結果	果指標1	4.(00	4.00	講座数	女		各種学級・	講座の合計数	H28目標	標値 4講	座			講座	事業の事後評価	ХЭЦ	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
	結果	果指標2	822.0	00	949.00	講座参	多加者数		各種学級・	講座の参加者数	(延べ)	人数)H2	8目標(値 800,	人	人	評価	妥当	無	適正	有効	有	有
事業改善計画			その効果を具体的 り、配布チ		 利用し、	広報	3及び参加者	か増を	めざす														

栃太市車務**車**業郭価夷

では20年度

	_	棣式 1									1474	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		5 VIVA I									1 /3% 2	0 千皮	
会	計	一般	款項目1	00402 -	予算事業コード	565	701	事業区分	02 1	行政的事業	新規	見 / その(也 2	その他				基	基本旅	 策			単位	ī施策	
事第	《名	寺尾公民	館講座等開設	事業費											Ħ	5202	生涯学習	の充実				生涯学習	機会の充	実	
担当係・	当部部 担当	₹ チーム名	生涯学習部	公民館	課 寺尾公)民館	係			扌	旦当者	江面 奈	Q		従										
事業	美の性	質 2 目	 目治事務	根拠法	令等 社会	教育》	去			<u> </u>							事業期間	H 2	2 2	~ H3	3 年度	全体事第 (人件費			879 千円
事業の概要	積		3活動の推進。					、どういう方法で、 公民館自主講座			象、手	段の記入)	- 11	達成日標	を かな ままず と いっぱい こうしゅう かいしゅう しゅうしゅう かいしゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅう しゃ	文学習活 習機会の		と、地	域の位	中間意識			·		·
単作	位:	千円、人 平成27年度決算額 平成28年度決算見込 国庫支出金												成果目標	「民力 三涯学 を級・ 権勢	文学事業 学習人材 講座等 教育指導	延出席者 バンク登 の受講者 者養成講	数…平 録者の 数…平 座受講	成29 ² 活動(成29 ² 者数.	年度で1,2 件数…平月 年度で28 …平成29:	200人(現 成29年度で ,000人(現 年度で100	犬値904人) ご100件(現 状値25,40 人(現状値	状値66件) 6人) 40人)		
				0		0					平成	2 7年原	₹									28年度			
		県支出金 0 0 【事業の内容】 地方債 女性学級・高齢者教室・											> - - 1	<u> </u>	1.25		1	事業	<u>の</u> 内	容】	·^ +z +z-	- 7 L	<u>+ 11</u>	511 14	
	事業費	事 _{地方債} 女性学級・高齢者教室・ 業 											こも! E開i	ノークノ 殳する	レバ	Ī	動	敎室	の開	双・両圏 閉設お。	で百致争 にび教養	≧・子ど 養講座を	モリー 開設す	グル店 る	
事業	費	その他特財		0		0	内容	【成果】 講座	開催	≝数 4	講座	<u> </u>						成果 講		間催数	4 講座	<u>v</u>			
事業費・		一般財源		57		57	-	参加													8 8 0ブ				
指標		事業費は	а	57		57	の成果																		
の推	人作	‡費	7	,500	7,	500	果																		
	減値	西償却費	С	0		0	Ш																		
	総事	事業費 a+b+	c 7	.557	7,	557		指標名					算	出方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	_上位		成果向上
	結乳	果指標1		4.00	4	00	講座数	女		各種学	級・講	座の合計数	Ż Η 28	3目標値 4	講座			講座	事業の事後評価	ХЭЦ	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
	結馬	果指標2	943	3.00	880	.00	講座参	参加者数		各種学	級・講	座の参加者	 對(延	[ベ人数)	H 28	目標値	840人	人	評価	妥当	無	適正	有効	無	有
事業改			その効果を具体 のチラシ・			等で	地域	住民に広報	し、	参加者数	対の挑	広大を図	図る。												

善計画 事後評価備考

栃木市事務事業評価表

平成28年度

)	<u>' </u>	依八	I								-					'								1 /2% =	- 0 -152	
会	計	一般		款項目1	00402	予算事業コード	5658	301	事業区分	02 行政	的事業	f規/	その他	2 7	その他				į	基本旅	 色策			単位	施策	
事業	쇰	国府公	民館講	捧座等開設	事業費	Ī										主	5202	生涯学習	の充実	<u>'</u>			生涯学習	機会の充乳	実	
担当係・:	部設担当	₹ チーム∻	3 生	涯学習部	公民館	館課 国府2	公民館	係			担当	者大	塚步			従										
事業	€の性	賃 2	自治	事務	根拠法	去令等 社会	教育法	.			•	•				-		事業期間	Н:	2 2	~ H3	3 年度	全体事業 (人件費)			871 千円
事業の概要	積		学習活						どういう方法で、 、民館自主講座			手段の	記入)	達成目標	講座	の内	容をエ		させる	と共	に、参加	者数を増加		·		
単位	立:	千円、	人平	成27年度決	算額 平	· 成28年度決算	見込							施果	成 市 県 生 リ	民大 涯学	学事業 習人材 講座等	延出席者がシスク登の受講者	数…平 録者の 数 平	成29 活動	年度で1,2 件数…平 年度で28	200人(現状 成29年度で 000人(現	大値904人) ご100件(現 状値25,400 人(現状値	状値66件)		
		国庫支出	出金		0		0	П				+ 2 -	7年度	人	人	、権教	育指導	者養成講	座受講	者数	平成29					
		県支出	金		0		0		 【事業の	 内突 】	* /	JX, Z	7年度					- r	車型	<u>س</u> ار	内容】	11 DX	28年度	-		
	事	地方債	ŧ		0		0	事業	女性学級	・高齢	者教室	・子	どもり	t — /	フル活	動		女	性学	級:	・高齢す		子ども			
事	業費	その他特	寺財		0		0	業の内容	教室の開 【成果】				≜を開設	₹9 6	5.			教	成果				構座を開	設りる。	0	
事業費・		一般財	源		111		84	容	講座 参加	開催数 者数	: 9講座 1,286人	<u>ĕ</u>									開催数 皆数	6講座 735人				
· 指標		事業費	∄ a		111		84	で の 成																		
仮の推	人作	‡費	b	7,	500	7,	500	(第																		
	減值	西償却費	ŧ c		0		0													_						
	総事	章 a+b	+ c	7,	611	7,	584		指標名					算出7	方法				単位	事業の	妥当性	コスト 削減の	受益者	上位	類似事業	成果向上
	結乳	果指標	1	ç	0.00	6	3.00	講座数	Į.		各種学級・	講座の	の合計数	Ⅎ28目ホ	票値7講座	Ē			講座	事	女当注	削減の 余地 	負担	貢献度	の有無	の余地
	結果	果指標:	2	1,286	6.00	735	5.00	講座参	加者数		各種学級・	講座の	の参加者数	(延べ)	人数)	H 28 팀	目標値88	0人	人	後評価	妥当	無	適正	有効	有	有
事業改善計画)効果を具体 ラシ・公			で地	域住	民に広報し	、参加	者数を増	加さ	させる。													

平成28年度

_		135.70																						
会	it i	一般	款項目 1004	01 予算事業コード	5670	001	事業区分	02 行政	的事業	新規。	/ その他	2	その他					基本的	施策			単位	施策	
事業	名	家庭教育学	² 級開設事業費											主	5202	生涯学習	の充実	Ę			生涯学習	機会の充実	Ę	
担当係・	部課担当:	! チーム名	生涯学習部 生	涯学習課 社会	会教育	係			担	当者食	飯田和代			従										
事業	の性	質 2 自	治事務 根	拠法令等 社会	教育法	Ę										事業期間	Н	2 3	~ H3	3 年度	全体事業 (人件費		5,	868 千円
事業の概要	家庭機会	業完了(事業) 選において、 会を提供す 主要事業】	^{期間のない事業は平)} 、望ましい子ど るため、家庭教	^{成33年度)までは} もの教育を行 育学級を開設	に、誰(うため する。	何)を かに 、	、どういう方法で、 必要な知識や	どうしたいの 技能・態!	^{のか。対象} 度につい	R、手段の いての:	の記入) 学習	通	幸 家庭	にお	いて心	間のない事業 か身ともに 公子どもを	健康な	注子ど	度)の目標) もを育て	るために、	必要な知	識や技能・	・態度を保	
単位:千円、人 平成27年度決算額 平成28年度決算見込 国庫支出金											施策	成果目標	民大選級権	学事業 習人材 講座等 育指道	延出席者 バンク登 の受講者 お養成講	数平 録者の 数平	元成29 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	年度で1,2 件数…平 年度で28	200人(現 成29年度で ,000人(現	犬値904人) ご100件(現 状値25,40 人(現状値	状値66件) 6人) 40人)			
	平成27年								 7 年度	1 '	1135 /	、T圧・チン	(H)10- (H	日民水肿	主义证	9	//2.20		2 8 年度					
		県支出金	C)	0	_	【事業の	内容】								1	事業	 ● の 「	 内容 】					
	事	地方債	C)	0	事業	・家庭教 び中学校	育学級	を幼科	惟園、	保育園	,	小学校	汉		•	家庭	₹教育	育学級な で開催す	を幼稚園	引、保育	園、小	学校及	
事	費	その他特財	C	,	0	の内容	丨【成果】				(40) 3	, , ,	· + +	7 L			成果	₹】			(4.45)	÷n 😁 🗕	- 184	
事業費・		一般財源	443	3	613		1 7/4-11	回)、小 回)、小	、保育 小学校	育園(ξ(44[(18)、子回)及び「	- 育 中学	(文 ½ 学校 (4	夏ゼ 回)		康	初程 (7回	ŧ園(□)、	2回)、 <u>小</u> 規模	保育的保育的	(14回)、 設(2回)	認定し、子育	て支援	
指標	旨 事業費 a 443 613 100							開催した :開催した	ے۔ ائے،				セ 回	ンタ	ァー(おい	(1回)、 イマ家庭	小字校 教育学	設(2回) (44回) 級を開	ሏび中学 崖した。	2校(7				
の	人件	i費 b	2.250	2	625	黛				.,						•	家庭	€教育	育講演会	会(1回)	を開催し	った。 [*]		
推移	減征	面償却費 c	2,200		0_0																			
ļ	総事	≇業費 a+b+c	2,693		238		指標名				:	算出	片法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者	上位	類似事業	成果向上
	結界	果指標1	78.00	78	3.00	講座数	数		学級の講	構座数	H28目標値	直:85	5講座				講座	事業の事後評価		余地	負担	貢献度	の有無	の余地
	結男	果指標 2	2 444 00	2 000		参加力	 人数	_	学級の講	 講座の参	加者数(延べ	人数)) H28	目標化	直:3,300	0人	人	評価	妥当	無	適正	有効	無	有

(改善内容とその効果を具体的に記入)

・幼稚園及び保育園の理解が得られ、昨年とほぼ同数の家庭教育学級を開催できた。また、少しずつであるが、中学校における家庭教育学級実施校数(4校 7校)を、伸ばすことができた。
・新たに、0歳児から3歳児までを保育する小規模保育施設に対し、家庭教育学級開催のお願いをし、同学級を開催することができた。
・関係機関との連携を図り、より多くの保護者が家庭教育学級に参加できる機会を創出する必要がある。

平成28年度

	±⊥	фД	ᆂᅒᅚᅎᄆ	10010	4		704	事業位へ	00	/ニエケから 書	44 34c	:tn / フ へ :	(IL C	7.04					#++	+ 			ж <i>т</i>	+tr ##	
Z	計	一般 ————		10040	7 予算事業二	1-1 /32	2/01	事業区分	02	行政的事	兼	祝 / ての	也 2	その作	ᄖ				基本的	他朿			単位	.施策 	
事	業名	人権教育推	進事業費												ŧ	5202	生涯学習	の充実	Ē			生涯学習	機会の充	実	
担 係·	当部部 担当	果 チーム名	生涯学習部	祁 生涯	学習課	社会教育	育係				担当	者早乙女	豊		従										
事	業の性	±質 2 自	治事務	根拠	法令等												事業期間	Н	2 8	~ H3	3 年度	全体事			440 千円
事業の概要	(事 【 - ・ /	議完了(事業 主要事業】 人権教育指					(何)を	と、どういう方法で	、どう	したいのか。	対象、	手段の記入)					間のない事業 事者等の、					めると共に	人権意識の	の高揚を図	
単	位:	千円、人	平成27年度	決算額	平成28年度	E決算見込								成 施果 策目	市生涯級	大学事業 学習人材 ・講座等	美延出席者 オバンク登 手の受講者	数平 録者の 数平	Z成29 D活動 Z成29	年度で1, 件数…平 年度で28	200人(現 成29年度 ,000人(現	状値904人) で100件(現 !状値25,40	状値66件) 6人) 40人)		
		国庫支出金				0		Τ			TT -	# 2 7 /T F		標	人権	教育指導	建 者養成講	坐受請	黄者数	平成29					
	県支出金							平力	뷫27年月	Ž					>11	, _		+ //	【28年度	<u> </u>					
	事	 地方債					事										.	事業 教贈	€の[内容】 等に対す	する人権	霍研修会	き学校	を会場	
	事業費	るの仏柱財				0	業 の										[開催	ËŪ、	人権	旨導者(の人権意	識の高	揚を図	
事業	本															成果									
費・														;	9校	の教	職員等	に対し	8箇所で	研修会	を開催				
指煙													ع ا	、という	5 LGE	い STに関す	かのっ すること	に。回位となど幅	印に関す	ーマで					
しの	人作	牛費 b				3,000	黛										研た	F修を	行し	ハ参加す	皆の人権	を意識の	高揚に	繋がっ	
推移	減值	西償却費 c				0												-0							
	総事	事業費 a+b+c				3,070		指標名					算	出方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者	上位	類似事業	成果向上
	結果	果指標1				9.00	人権研	研修実施学校数		実施	学校数	H28目	票値:8	 B校				校	事業の事後評価	女当住	所成(0) 余地	負担	貢献度 	の有無	の余地
	5.00								直:100	人				人	評価	妥当	無	適正	有効	無	有				

(改善内容とその効果を具体的に記入)

- ・人権教育指導者等の人権課題に対する理解を深めることを目的にした研修は、計画以上の学校を対象に実施することができた。 ・市内44校全てで人権指導者研修を実施するには5、6年を要することなど課題があるため、2校を対象とした研修会を開催するなど工夫をしていく必要がある。